

後期研修医の皆様へ

糖尿病センター、糖尿病内科

激増する糖尿病、特に2型糖尿病は、自覚症状がなく、治療の最大の柱である食事療法と運動療法は患者さん自身の自己管理によります。そのためには、患者さんに納得される患者教育、正しい知識の提供を支援する体制が必要です。

私どもの糖尿病内科・糖尿病センターの特徴を述べます。

1. 外来は糖尿病センターとして独立し、センター内に眼科を併施し内科と眼科が連携した診療を行っている。
2. センターの目標は、合併症を起こさせない、進行させない糖尿病治療です。そのためHbA1c7.0%以下を目指し、治療中断しない患者教育と支援体制を実施する。
3. コメディカルの糖尿病療養指導士とチーム医療を行う。
4. 2週間の教育入院を最大の柱とし、入院困難な方への外来指導パスにもとづく栄養指導とビデオ教室、糖尿病療養指導士（栄養士、看護師）による療養支援外来を行っている。
5. 糖尿病昏睡、低血糖昏睡などの糖尿病緊急症の入院も年間7~8例以上、合併症治療のための入院や手術前血糖コントロールのための入院など多くの症例を経験することができる。
6. 日本糖尿病学会認定教育施設であり、糖尿病専門医受験資格が得られます。

後期研修医の皆様、多数ご参集ください。

参考資料

1. 糖尿病センター開設以来の入院患者数の内訳
2. 最近の学会発表

平成 20 年度

- ・ 第 46 回日本糖尿病学会九州地方会（2010.10～10.11） 7 題

平成 21 年度

- ・ 第 286 回日本内科学会九州地方会（21.8.22） 1 題
- ・ 第 14 回日本糖尿病教育看護学会（21.9.20） 2 題
- ・ 第 47 回日本糖尿病学会九州地方会（21.10.23～24.） 7 題
- ・ 題 9 回福岡県看護協会学会（21.12.5） 1 題

3. 論文

- ・ 前立腺腫瘍に肺血症性肺塞栓症を併発したと考えられる 2 型糖尿病の 1 例
兵頭智子他・糖尿病 51（11）：997,2008.